

編集後記

米国メジャーリーグにおける大谷翔平選手の活躍が度々ニュースとなっています。過去に大谷選手が時速107.6マイル（時速約173km）という弾丸ライナーのホームランを打った時は、現地で「エクスプレスレーン（高速道路の追い越し車線）を使ってスタンドまで運んだ」と報じられたそうです（米国の高速道路でもこの速度は制限超過だと思います）。

さて、本号の特集は「道路」です。高度経済成長期に集中整備された道路インフラは、幹線道路のみならず、中小規模の道路も含めて老朽化の修繕が必要となっています。それと同時に、自然災害への備えも考えたメンテナンスが求められています。

巻頭言では、東京都立大学の砂金先生より「自動化に向かって」と題してご寄稿頂きました。自動化に関するテクニカルな内容に加えて、機械に頼るべきことは何かについて、組織を超えた技術者による議論が必要であるご提言を頂きました。

行政情報では、今年1月1日に発生した能登半島地震による道路構造物の被災状況から、新たに判明した技術基準の課題と対応についてご執筆頂きました。道路については片側通行での復旧も多く、資材の運搬が

進まないとの報道もあります。1日も早い復旧と復興が望まれます。

また、別の行政情報では暮らしや国をより良くしたいという普遍のニーズから生まれる多種多様な技術の中から、有用な技術の普及を推進する取り組みについて、ご紹介頂きました。

特集報文では、橋梁の床版取替・点検・施工シミュレーション技術について、道路舗装機械の自動化や安全システム、電動化についてご執筆頂きました。また、施工現場の管理・連携を効率化するソフトウェアについてご紹介頂きました。さらにEVへの無線給電道路、アスファルトプラントでの水素燃料活用技術、さびにくい凍結防止剤の導入についてもお説明頂きました。

交流のひろばでは、明治大学の松尾先生より、道の駅について地域活性化のみならず、パンデミックや自然災害発生時の地域センターとしての発展も期待されるとご提言頂きました。

ずいそうでは、インドの文化や慣習、SDGsとソーシャルインパクトについて興味深い話題をご寄稿頂きました。

最後に、お忙しい中、急なご依頼にも関わらずご執筆頂きました皆様、編集にご尽力頂きました皆様に改めて感謝を申し上げます。

（丑久保・大竹）

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
中岡 智信	渡邊 和夫
見波 潔	

編集委員長

中野 正則	日本ファブテック(株)
-------	-------------

編集委員

吉田 真人	国土交通省
大津 太郎	農林水産省
内海 友介	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
丹 秀男	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
藤井 攻	清水建設(株)
桐山 茂雄	(株)大林組
出口 明	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
加取 新	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
那須野陽平	東亜建設工業(株)
佐藤 裕	日本国土開発(株)
丑久保吾郎	(株)NIPPO
室谷 泰輔	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
花川 和吉	日立建機(株)
丹治 雅人	コベルコ建機(株)
漆戸 秀行	住友建機(株)
大竹 博文	(株)加藤製作所
田島 良一	古河ロックドリル(株)
鈴木 健之	施工技術総合研究所

事務局

（一社）日本建設機械施工協会

12月号「先端建設技術特集」予告

・分野横断的技術政策ワーキンググループ 中間とりまとめ ・日本全国の都市デジタルツイン実現プロジェクト「PLATEAU」 ・林業イノベーションの推進 ・BIM/CIM・ROS2を活用した油圧ショベルの自律施工 ・後付型建設機械操縦システム ・建設現場の省人化に向けた自動施工技術の適用実験 ・BIMを用いたドローンの屋内外自律飛行システム ・港湾工事の計測を効率化するドローン「Penta-Ocean Vanguard-Drone」の開発 ・統合管理システムによる盛土工事自動化実証施工 ・AI・IoTを活用した造成工事におけるデジタル施工管理システムの構築 ・画像認識AIを用いた作業人工の計測 ・山岳トンネル仮設遠隔管理システムの開発 ・切羽鏡面の吹付けコンクリートのひび割れ検出により肌落ちの予兆を知らせるシステムの開発 ・国内道路トンネル初となる現場製造バルクエマルション爆薬による発破を実現 ・主筋周囲に拘束筋を施したRC梁の補強効果に関する実験的研究 ・コンクリートのひび割れ画像解析の開発と実用化展開 ・AIを活用した粒度判定システム「ASYST」

【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料（12冊） 10,032円（税・送料込）

建設機械施工

第76巻第11号（2024年11月号）（通巻897号）

Vol.76 No.11 November 2024

2024（令和6）年11月20日印刷

2024（令和6）年11月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 金井道夫

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話（03）3433-1501；Fax（03）3432-0289；<https://jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154

電話（0545）35-0212

北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8

電話（011）231-4428

東北支 部 〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18

電話（022）222-3915

北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1

電話（025）280-0128

中部支 部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10

電話（052）962-2394

関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4

電話（06）6941-8845

中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22

電話（082）221-6841

四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22

電話（087）821-8074

九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30

電話（092）436-3322

本誌上への
広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL：03-3664-0118 FAX：03-3664-0138

E-mail：san-mich@zam.att.ne.jp 担当：田中